

医薬品安全使用ニュース

デクスメトミジン 投与時の注意点について



効能・効果：

- 集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静
- 成人の局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静
- 小児の非挿管での非侵襲的な処置及び検査時の鎮静

(※小児(15歳未満)の適応は先発品プレセデックスのみ)

概要

本剤は、患者の呼吸状態、循環動態等の全身状態を注意深く継続的に監視できる体制が整った状態で、投与を開始する必要があります

注意すべきポイント

- ✓ 当院において、添付文書上の用法用量を遵守していても心停止に至った事例が報告されています
- ✓ デクスメトミジン(プレセデックス)の投与により、高血圧、低血圧、徐脈、心室細動等があらわれ、心停止にいたる恐れがあるため、モニタリングの徹底をお願いします

通常、成人には

- ・初期負荷投与：6µg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入
 - ・維持投与：0.2～0.7µg/kg/時の範囲で持続注入
- 患者の状態に合わせて投与速度を減速することが可能です

初期負荷投与中には、血漿中濃度が高濃度になるため、循環器系及び呼吸器系の変動に対してより注意が必要です

参考資料

- ・当院の鎮静実施基準(医療安全管理マニュアルⅡ-18-1)
- ・プレセデックス静注液、デクスメトミジン静注液「ニプロ」添付文書
- ・デクスメトミジン静注液200µg/50mLシリンジ「ニプロ」適正使用ガイド

https://www.nipro-es-pharma.co.jp/product/di/files/safe/DXMT_safe_038271.pdf